

# 喜多流自主公演

平成二十八年十一月

平成28年 11月27日(日)

12:00開演(11:00開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階栈敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁(平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)



雷班通 小町 栗谷 明生  
電女 長島 茂  
替装束 金子 敬一郎

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

##### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

##### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

##### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

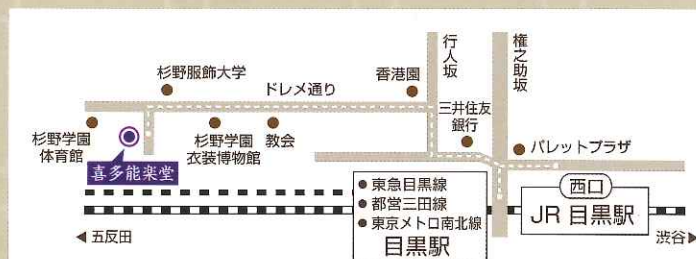
- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



|    |        |           |        |
|----|--------|-----------|--------|
| S席 | 9,000円 | C席(1階栈敷席) | 6,500円 |
| A席 | 8,000円 | D席(2階席)   | 6,500円 |
| B席 | 7,000円 | 学生席(2階席)  | 2,500円 |

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに日黒駅より徒歩7分。日黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮いたします。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>



通小町

シテ連・小野小町の霊 佐藤 陽  
シテ・深草少将の霊 栗谷明生

ワキ僧 則久英志

能

大鼓 柿原崇志 笛 一噌庸二  
小鼓 田邊恭資

後見 栗谷幸雄  
香川靖嗣

地謡 高林昌司 佐藤章雄  
佐藤寛泰 内田成信  
谷 友矩 栗谷能夫  
栗谷充雄

口真似

シテ太郎冠者 大藏彌太郎

狂言

アド主人 大藏彌右衛門  
小アド客 大藏基誠

休憩(二十分)

班女

後シテ・狂女 長島 茂  
前シテ・遊君班女

ワキ吉田少将 殿田謙吉

能

大鼓 柿原光博 笛 藤田貴寛  
小鼓 観世新九郎

ワキ連少将の従者 大日方 寛  
ワキ連少将の従者 梅村昌功

アイ野上宿の長 大藏教義

後見 塩津哲生  
松井 彬

地謡 狩野祐一 谷 大作  
塩津圭介 狩野了一  
友枝真也 出雲康雅  
高林昌司 大島輝久

休憩(十分)

仕舞

天鼓

内田成信

能

地謡 塩津圭介  
狩野了一  
大島政允  
友枝真也

雷電

後シテ・雷神 金子敬一郎  
前シテ・菅丞相の霊

ワキ連従僧 村瀬 慧

ワキ法性坊 福王和幸

ワキ連従僧 村瀬 提

アイ法性坊の能力 吉田信海

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 金春國直  
小鼓 住駒充彦 笛 内潟慶三

後見 友枝昭世  
内田安信

地謡 友枝雄太郎 友枝雄人  
佐藤 陽 中村邦生  
栗谷浩之 大村 定  
谷 友矩 高林 呻二

附祝言

— 終了予定午後四時半頃 —

通小町 (かよいごまち)

八瀬の里に住む僧の所に、毎日本の実や薪を届ける女がいる。ある日、名を尋ねると、市原野に住む者と答えて消える。僧が市原野に向かい、つれ果てた面ざしの四位深草の少将の霊が現れ、小町を引き留めてその成仏を妨げる。少将は、生前小町に恋をして、小町にその気がないとも知らず小町に言われた通りに百夜通ったが、あと一夜という夜に思いを果たせず無念の死を遂げ、死後も地獄で苦しんでいるのだった。少将の霊はそのことを細々と物語り、恨みを述べるが、僧の弔いで二人揃って成仏する。自由かつ大胆な構成で少将の執念とそれから逃れようとする小町の姿に人間の煩惱を見せる。少将の想いが深いほど、小町の驕慢さに恨みが増す様子である。  
(約七十分)

口真似 (くちまね)

酒をもらった主人は、酒の相手がいないのでさがしてくるようになり、太郎冠者に命ずる。太郎冠者は、主人と交際がないという顔見知りの人を無理に連れて来る。主人がその客を見るとなんと酒乱の人であったので、穏やかに帰ってもらおうと考え、自分のいう通りに行動するよう太郎冠者に命ずる。しかし、太郎冠者は主人の物まねをすればよいと勘違いをして一挙一動主の真似をするので怒った主人は太郎冠者を打ってしまう。すると今度は、太郎冠者が客を打ってしまう。  
(約二十分)

班女 (はんじょ)

野上の宿の遊女花子は、東国へ下る途中に寄った吉田少将と深い契りを交わし、少将を思うあまり交換した扇を離さず、漢の故事にならって班女と呼ばれるようになる。花子は他の客の前に姿を現さず、やってくる少将は、花子の行方を尋ねるが分からない。花子へ都へ上るような言伝を残し少将は都に帰り、賀茂神社に参詣をする。すると、狂女の姿の花子が来る。恋の願いを叶え給えと神に祈る花子に、少将の従者が声をかけ、面白く狂って見せよという。花子は、形見の扇を手に、あてにならない少将の言葉を嘆き、独り身の寂しさを訴えながら、舞を舞う。扇を操り舞うほどに心乱れ、花子は、逢わずにいればいほほどの恋心を顕わにして、涙にくれる。だが、その扇を見て少将は花子と確認し、従者に命じて花子を呼び寄せて少将の契りの扇を見せると花子の狂気もおさま喜びあうのだった。  
(約八十分)

雷電 替装束 (らいでんかえししょうぞく)

比叡山延暦寺の座主法性坊の僧正が仁王会を執り行う夜すがら、太宰府に左遷されて憤死した菅公の亡霊が訪れる。僧正は、幼く身寄りのない菅公を養った、親代りであり師であった。久しぶりに再会したのち、菅公の霊は、自分は雷となつて、生前、自分を冷淡な待遇をした宮廷人たちが蹴り殺さんと思うが、異変にあたつて僧正が内裏に召されたら、それには応じてくれるな、と懇願する。僧正は二度までは謝絶するが、勅使が三度に及ぶときは力なし、と答えるや菅公の霊は形相すさまじく変わり本尊に備えてあつた栴檀を噛み砕いて妻戸に吐きかけると、たちまちそれが火災となつて燃え上がる。僧正は経文を唱え、水の印を結ぶと火災は消え、菅公の霊は煙の中に姿を消した。(中人) 果たせるかな僧正は内裏へ召され、法華普門品を誦誦する。すると暗雲とざし雷鳴とどろき、雷神と化した菅公が現れる。祈る僧正と鳴り渡る雷神は紫宸殿、清凉殿、弘徽殿と追いつ追われつともみあい、ついに菅公は法力に屈する。しかし帝から「天満大自在天神」の神号をおくられると、礼を述べて黒雲に乗り立ち去って行く。  
(約七十分)

平成二十八年 十二月 自主公演番組予告

平成二十八年 十二月十八日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

自然居士 友枝 真也

梅 枝 栗谷 明生

車 僧 大島 輝久